

令和最初の新春を謹んでお祝い申し上げます



昨年は当病院に衝撃的な「事件」が起きました。

少子高齢化、人口減少などによる疾病構造の変化、増大する医療費に対応するため平成27年より地域医療構想の策定が始まりました。この一環として急性期病床を有する全国1,652の公立・公的病院のうち、人口100万人以上の区域に位置する病院などを除いた1,455病院の診療実績が分析されました。

がん、心疾患、脳卒中、救急、小児、周産期、災害、へき地、研修・派遣機能の9領域で診療実績が少ない病院、または類似の機能を持つ病院が近接している公立・公的病院が令和元年9月に公表されました。全国で25%を超える424病院、群馬県では4病院が対象となりましたが、この中に当院も含まれていました。病院数としては民間病院の方が多いのですが、公費が投入されたり、税制で優遇されたりしている公立・公的病院が最初に取り上げられたのです。9領域の診療実績に現れない地域医療で果たしている役割などは当然ありますが、それらは今回の分析では考慮されませんでした。

このような結果となり多大な心配をおかけしたことに対し、院長として責任を痛感しております。しかし、厳しい現実を目前にして、職員一同が危機感を共有することが出来たように思います。

今後、高崎・安中2次医療圏の地域医療構想調整会議などで当院の改革案を協議・修正していただく事になります。痛みを伴う事もあるでしょうが、安中市内で唯一の公立病院であることを肝に銘じて、地域の多くの方々に支援いただけるよう病院全体でしっかりと対応いたします。

新年早々、明るくない話題で申し訳ありませんでした。今年が皆様にとって良い年となることを心よりお祈りいたします。

病院長 唐澤 正光



基本理念

私たちは、患者様の命と健康を守るため、安心して適切な医療が受けられ、より信頼される病院を目指し、努力していきます。

1. 地域住民とともに歩み、患者様本位である病院（親しまれる病院）
2. 人々に信頼され、安心のよりどころとなる病院（信頼される病院）
3. 地域の医療機関と連携を図り、活力あふれ躍進する病院（期待される病院）

厚生労働省の病院名公表について



新年明けましておめでとうございます
旧年中は当院にご支援ご協力を賜りまして誠にありがとうございました。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、昨年 9 月に厚生労働省から「再編統合の必要性について特に議論が必要な公立・公的医療機関」として全国で 424 の病院名が公表され、群馬県内では当院を含む 4 つの病院が含まれておりました。

病院開設者として、市民のみなさまにご心配をおかけいたしましたことを心よりお詫び申し上げます。

現在、高崎・安中医療圏では、団塊の世代が 75 歳以上になる 2025 年に向けて効率的な医療提供体制を実現するため医療関係者が協議を行っています。

当院はこれからも市内唯一の公立病院として安中市医師会様をはじめ近隣の医療機関と連携しながら地域医療を担ってまいりますので市民のみなさまのより一層のご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

公立碓氷病院開設者 安中市長

茂木英子



午後の外来のご案内



当院では、現在午後（13:30～16:30）にも一般外来診療を実施しております。
紹介状は不要で、初診の方でも受診できます。
ぜひご来院ください。

午後の一般外来診療スケジュール（令和 2 年 1 月現在）

受付時間 13:30～16:30

	月	火	水	木	金
内科	秋葉 徹	河村 俊英	石川 哲也	吉田 泉	金谷 あずさ
外科	萩原 慶		非常勤(注※)		

注※第 1・3・5 週のための診療です。受付時間は 16:00 までとなります。

昭和 10 年の大水害

先の台風 19 号では、当市も 24 時間雨量が 300 ミリを超える豪雨となりましたが、幸いにも河川の決壊には至らずに済みました。

長野県や宮城県の惨状を見るにつけ、台風の進路がもう少し違っていたらと考えると背筋が凍る思いですが、実際に安中市域が最も被害が大きかった台風災害も過去にはあったのです。

昭和 10 年には、8 月ころから長雨が続き河川は満水状態となっていました。そこに 9 月 24 日九州宮崎付近に上陸した台風が、進路を北東方向に変え、北関東付近の前線を刺激したため、翌 25 日から悪性の雷雨となり群馬県下に豪雨を降らせました。群馬県で最も被害が大きかったのは碓氷郡で、その中でも後閑・秋間地域が激甚地域となりました。豪雨は、午前 10 時から午後 11 時まで連続 10 時間以上にわたり最大降雨量は 309 ミリに達し、各地に土砂崩れが発生して多くの住家を襲いました。



地区名	死者	重傷者	全壊家屋	流失家屋	半壊家屋	浸水家屋	流失埋没田畑
後閑	37 人	45 人	67 戸	92 戸	150 戸	1,428 戸	309 畝
秋間	9 人	37 人	67 戸	88 戸	133 戸	81 戸	368 畝

後閑村は、この年一粒の米も収穫できず、秋間村の橋梁はすべて流失したといえます。

この水害ののち、安中市域の水防対策は面目を一新し、碓氷川には堅牢な堤防が築かれ、小河川に至るまで砂防堰堤などの土砂災害防止工事がなされました。

しかし多くの谷津地形に集落が所在する当市の地形的な危険度は、当時とあまり変わっていません。つまり当時と同じ程度の降雨があれば再び同程度の災害を引き起こす危険性を秘めているのです。「災害は忘れた頃にやってくる」という格言は今も生きているのです。

千葉県南房総市への災害派遣について

当市と友好都市である千葉県の「南房総市」は昨年の台風 15 号（9 月 8 日～9 日）により大きな被害に見舞われ、その後の台風 19 号（10 月 12 日～13 日）、大雨（10 月 25 日）によってさらに被害が拡大してしまいました。

台風 15 号の後、当市から交代で職員を派遣しており、昨年の 12 月 9 日～15 日の間、第 11 班として当院の医事課から 2 名（12 月 12 日に交代）と教育委員会の生涯学習課から 1 名の計 3 名が派遣されました。

今回の現地での業務としては家屋調査に同行して、被害家屋の写真撮影や家屋の平面図に被害程度の記載、調査がない時は庁舎内で、固定資産税減税のための資料作成やデータ入力・被害状況を撮影した写真の整理等を行いました。

派遣されている間も 1 日に数件の家屋調査があるものの、現地は少しずつ落ち着きを取り戻しており、南房総市の職員もようやく交代で休暇が取れているようでした。

短期間に 3 つの自然の猛威に遭いながらも、懸命に通常の生活を取り戻そうとしている姿に心を打たれました。一日でも早く以前の生活に戻れるよう願っております。



12 月 9 日に行われた出発式の様子

4階病棟

職場紹介



疾病や外傷などにより病態が不安定な患者様に対して、安定した状態に至るまでの治療と支援を行うことを目的とした50床の急性期病棟です。

当院に入院する一般内科、血液内科、一般外科のほとんどの患者様を受け入れています。特に、血液内科の分野では西毛地区からの紹介患者様が多く、地域医療を担っています。一般内科や一般外科の分野では、近隣の医療機関からの紹介も含め、地域住民の方々へ入院治療を提供しています。また、高度先進医療機関と連携して急性期治療後の患者様を受け入れています。そして、個々のご事情に応じた退院に向け、支援を行っています。



4階病棟は平成28年3月から当院での唯一の急性期病棟です。

内科・外科・泌尿器科・整形外科・皮膚科の医師の治療方針に基づき看護を行っています。

一般病棟の混合病棟である為に、クリーンルームでの化学療法の方、呼吸不全の人工呼吸器装着の方、乳癌の手術の方、口腔外科の手術の方、誤えん性肺炎の方、高齢者においてのせん妄や認知症とさまざまな患者様を日々受け入れています。毎日の入院や転棟・退院が多い病棟ではありますが、笑顔を忘れず患者様の訴えに傾聴して、個々に応じた看護をこころがけております。

医師をはじめとした、薬剤師・管理栄養士・理学療法士・作業療法士・臨床工学技士・ソーシャルワーカーなど他職種と連携してこれからも日々の看護に努めてまいります。

4階病棟 師長 澤崎 輝美



通所リハビリテーションそよかぜに ボランティアの皆様をお招きしました

令和元年9月6日に当院職員の紹介にて安中市出身の三味線演奏者である上原梅弦様が来所され、三味線と唄を披露していただきました。利用者様に馴染み深い曲も多く、曲に合わせて手拍子をされている方も多くいらっしゃいました。聞いている方が懐かしさを感じられる素敵な演奏会でした。

令和元年10月8日に三ツ扇会様が来所し、日本舞踊を披露していただきました。利用者様の中には日本舞踊を習っていたという人も多く、久しぶりの踊りの観覧を懐かしく思われた方もいらしたようです。途中には踊りだけでなくカラオケも用意していただき、見ている方も参加できる楽しい会となりました。今回は利用者様の御紹介にて来ていただきました。

お忙しい中ご来所いただきました上原梅弦様と三ツ扇会様に、そよかぜ職員一同心よりお礼申し上げます。



インフルエンザが流行しています

毎年、主に12月～3月頃まで流行するインフルエンザは、感染者のくしゃみや咳などで飛んだ飛沫に含まれるウイルスを吸い込むことや、ウイルスが付着したものに触れた手で口や鼻に触れることで感染します。



感染すると、38度以上の高熱、頭痛、関節痛、筋肉痛、のどの痛み、鼻水、くしゃみ、咳などを急激に発症します。また、ご高齢の方、幼児、妊娠中の女性、持病（慢性閉そく性肺疾患（COPD）、喘息、慢性心疾患、糖尿病など）のある方は、肺炎や脳症などを併発し、重症化することも少なくありません。

予防方法

- ▼こまめに手洗いとうがいを行う
- ▼アルコールを含んだ消毒液で手を消毒する
- ▼人の多い場所への外出を控え、外出時にはマスクを着用する
- ▼加湿器などを使用し、適切な湿度（50～60%）を保つ
- ▼予防接種を受ける
- ▼睡眠をしっかりととり、バランスの良い食事を心がけて体の抵抗力を高める



インフルエンザかな？と思ったら

早めに医療機関を受診しましょう。インフルエンザと診断されたら、薬を医師の指示に従って正しく服用し、こまめに水分を補給して十分に睡眠をとりましょう。熱が下がって症状がおさまった場合でも、インフルエンザウイルスは体内に残っています。周りの人にうつさないために、医師の指示のもと自宅で安静にしましょう。

咳エチケットを心がけましょう

インフルエンザはとても感染力が強いので、もしかかってしまった場合は、周りの人にうつさないように以下のことを心がけましょう。

- ▼くしゃみや咳が出ている間はマスクを着用し、使用後のマスクはすぐにごみ箱へ捨てましょう。マスクを着用していても、鼻の部分に隙間があったり、あごの部分が出ていたりすると、効果がありません。鼻と口の両方を確実ににおい、正しい方法で着用しましょう。
- ▼マスクを着用していないときにくしゃみや咳をするときは、ティッシュや腕の内側で口と鼻をおおい、顔を他の人に向けないようにしましょう。

院内インフルエンザ対策による「面会制限」のお願い

当院では、入院中の患者様へのインフルエンザ感染を予防するため、現在**面会制限**を実施しております。

面会は**午後2時～午後7時、ご家族1名のみで約10分間まで**です。また、手洗い、手指消毒とマスク着用をお願いいたします。

ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。



■ 外来診療担当一覧

(令和2年1月1日現在)

			月	火	水	木	金
内科	午前	新患	塩野 由紀	秋葉 徹	石川 哲也	唐澤 正光	松本 久美子
		再来	松本 久美子 阿部 智志	唐澤 正光 塩野 由紀	阿部 智志 野際 英司	秋葉 徹 野際 英司	河村 俊英 吉田 泉
	午後	一般	秋葉 徹	河村 俊英	石川 哲也	吉田 泉	金谷 あずさ
		特殊	諏訪 絢也 (腎・膠原・リウマチ)	櫻井 篤志 ※1 (神経内科) 第 1・3・5 週	唐澤 正光 (血液)	河村・塩野 (血液)	金谷 あずさ (腎臓)
					松本 久美子 (血液)	池内 秀和 (腎臓・リウマチ) 第 2・4 週	内山 和彦 (腎臓) 第 2・4 週
					加藤 寿光 (循環器) 第 1・3・5 週		
	透析	午前	吉田 泉 (諏訪 絢也)	吉田 泉	吉田 泉	吉田 泉	金谷 あずさ
		午後	吉田 泉 (諏訪 絢也)	吉田 泉	竹内(第 1・3 週) 吉田(第 2・4・5 週)	吉田 泉	吉田(第 1・3・5 週) 内山(第 2・4 週)
小児科		午前		小坂橋 実希子			
		午後		小坂橋 実希子			
外科	午前	一般	中村 正治	中村(第 1・3 週) 吉田(第 2・4・5 週)	吉田 美穂	中村 正治	中村 正治
		乳腺・ 甲状腺	吉田 美穂	堀口(第 1・3 週) 徳田(第 2・4 週)			
	午後	一般	萩原 慶		非常勤 ※2 (第 1・3・5 週)		
		特殊		中村(第 2・4 週) (胃・大腸)			
整形外科		午前		石綿 翔		田鹿 毅	岡田 純幸 ※4 (第 2・4 週)
		午後		石綿 翔	遠藤 史隆 (第 1・3・5 週) 橋本 章吾 (第 2・4 週)	田鹿 毅 ※3	岡田 純幸 ※4 (第 2・4 週)
眼科	午前			非常勤 ※5			非常勤(第 4 週)
耳鼻咽喉科	午前		馬場 隆	高橋 克昌		馬場 隆	
泌尿器科	午前		新田 貴士	新田 貴士	新田 貴士	新田 貴士	新田 貴士
	午後		新田 貴士	新田 貴士	新田 貴士	新田 貴士	
皮膚科	午後		齋藤 晋太郎				内山 明彦
歯科口腔外科			葦沢 健	川口 祥子	葦沢 健	葦沢 健	嶋田 淳・葦沢 健

- 毎月最初の受診の際は必ず保険証の提示をお願いします。
- 受付時間は 8:30～11:30、13:30～16:30（一部例外あり）
- 休診日は土曜日、日曜日、祝日、年末年始（12月29日～1月3日）
- 透析は土曜日、祝日も行っています。
- 内科、外科の特殊は専門医による外来です。事前に一般外来の受診が必要です。
- 内科、外科の午後（一般）は初診の方も受診できます。
- ※1 神経内科は完全予約制となります。受診希望は事前の連絡をお願いします。
- ※2 水曜日の外科の受付は 16:00 までです。
- ※3 木曜日の整形外科の予約以外の方の受付は 15:30 までです。
- ※4 金曜日の整形外科は週が変更になる場合があります。
- ※5 眼科は第4週の金曜日に診察がある週の火曜日は休診となります。

編集 後記



明けましておめでとうございます。年末年始で長くお休みを取れた方もいると思います。また食べ過ぎてしまい、今年こそは痩せると思っている方もいると思います（私も心に毎年誓っていますが叶いません汗）。インフルエンザ等、感染症の流行時期となりますので体調管理に十分ご注意ください。本年も広報誌「うすい」を宜しくお願い致します。

広報委員長 岡田裕也（医事課 介護支援専門員）